

未定稿

2023 年度

事業報告書・決算書（案）

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

公益財団法人三鷹国際交流協会

目 次

事業報告書

事業の概要	3
会員の現況	5
事業実績	6
ウクライナ避難者に寄り添った取組	15
理事会等の開催実績	17
役員体制	19

決算書

貸借対照表	22
正味財産増減計算書	23
正味財産増減計算書内訳表	25
財務諸表に対する注記	27
附属明細書	30
財産目録	31
監査報告書	32

参考資料

収支計算書	35
収支計算書に対する注記	47

事業報告書

事業の概要

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せ始め、2023年3月に国の対応方針が緩和されたこと受け、年度当初からラウンジ活動の対面での試行を行うことができました。新型コロナウイルス感染症が5類移行した5月からは、ようやく日常生活が戻ってくる中で、ジャパニーズラウンジとイングリッシュラウンジを統合し、新たに「MISHOP ラウンジ」としてラウンジ活動を再開しました。

既に2022年度に対面での活動を再開した日本語教室と子ども教室については、受講希望者が増加したことに加え、事業を実施するとともに、2020年度以来中止となっていた Kick-off Meeting やフェアウェルパーティーなどを会員ボランティアの熱心な協力のもと4年ぶりに再開することができました。交流事業や国際理解事業については、5月には国際交流ウォークラリー、8月には子ども世界の文化体験会、9月にはMISHOP最大のイベントである国際交流フェスティバル、そして年明けの2月には国際交流スキーツアーを実施することができました。

国際交流フェスティバルについては、4月に幹事会を立ち上げ、前年度のコロナ禍での開催により得た知見等を活かしながら、通常開催に向けて検討を行いました。基本的な感染防止対策と混雑緩和のために設置した飲食専用エリアを拡充したほか、西園競技場を含めた広いスペースでの会場を継続し、開放的な雰囲気のもとでWB AやMISHOPステーションを再開し、4年ぶりに完全再開することができました。

国際理解の推進事業では、市民の国際理解の促進を目指し、国際理解講座を2回開催したほか、ことばと文化講座（中国コース・全10回）を開催しました。外国籍市民への生活・教育支援事業は、日本語教室や子ども教室とともに、日常生活相談などを実施しました。あわせて、近年課題となっている日本語支援ボランティアスタッフの確保に向けた取り組みとして、日本語ボランティア講習を再開しました。

また、近年全国各地で自然災害が頻発する中で、総合防災訓練への参加や防災出前講座の開催に加え、Mitaka みんなの防災フェスタへ出展し、平時からの外国籍市民との連携の重要性について周知を図りました。

2022年4月から始まった三鷹市へのウクライナ避難者の転入者数は徐々に増えており、2023年3月末現在で49人となっています。三鷹市への転入に伴う行政手続きのサポートをはじめ、ごみ出し方法や防災対策などの日常生活に必要な情報やウクライナ避難者向けに特化した携帯電話や自転車の無償貸与サービス等々、積極的な情報の収集と提供とともに、相談対応など引き続き避難者一人ひとりに寄り添った個別の支援を行いました。また、三鷹市のお祭りやフェアウェルパーティーへの招待など、ウクライナ避難者とMISHOP会員、日本語学習者等が交流する取り組みも実施しました。

理事会・評議員会は、それぞれ適時に開催され、決算や予算などすべての議案について円滑に決議や承認が行われました。なお、評議員については年度中に5人が辞任し、新たに5人が選任され、現在は15人となっています。

財務状況については、繰越収支差額による減額補正や予算執行時の縮減等に取り組んだことから、当初予算では4,749万円余としていた基本財産の取崩し額が3,200万円となりました。

三鷹国際交流協会は、これからも公益財団法人としての社会的責務を果たし、多文化共生社会の実現、地域の国際化の推進のため、次の「基本方針」に基づいた、さまざまな活動を積極的かつ着実に展開するとともに、ポストコロナにおける事業の再構築とさらなる発展に取り組んでまいります。

基 本 方 針

三鷹国際交流協会（MISHOP）は、市民ボランティアの参画のもと、地域の国際化を推進するため、

- ◆ 市民と外国籍市民の交流を促進する活動
- ◆ 市民の国際理解を促進する活動
- ◆ 外国籍市民の生活・教育を支援する活動

を積極的に展開します。

また、こうした「交流」「理解」「支援」に向けた活動の基盤として、

- ◆ 多文化共生の拠点化に向けた活動

を着実に推進します。

2010年3月策定

会 員 の 現 況

(2024 年 3 月 31 日現在)

◆ 維持会員の現況

一般会員 297 人

学生会員 18 人

合 計 315 人

◆ 賛助会員の現況

14 団体 (50 音順)

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団

学校法人杏林学園

国際基督教大学

酒井薬品株式会社

株式会社修友社

東京井の頭ロータリークラブ

東京三鷹ライオンズクラブ

東京三鷹ロータリークラブ

東京むさし農業協同組合

株式会社丸利根アペックス

三鷹商工会

三鷹青年会議所

明星学園高等学校

ルーテル学院大学

◆ 協会登録外国籍市民

491 人

◆ 年会費

一般会員 3,000 円

学生会員 1,000 円

賛助会員 50,000 円

事業実績

I 地域における国際交流の推進事業（定款第4条第1号関係）

日本人と外国籍市民が交流を通じ、多文化理解を促進し、国際化意識の高揚を図ることを目的としています。2023年度は、すべての事業を再開することができました。

1 MISHOPラウンジ <再開・再編>

これまでのジャパニーズラウンジ、イングリッシュラウンジを統合して「MISHOP ラウンジ」に再編し、日本人と外国籍市民とが簡単な日本語を基本に多言語で自由に交流する場として開催しました。

実施日 毎週火曜日 13:30～15:00、毎週金曜日 15:30～17:00

会場 国際交流センター会議室

2 ボランティア企画国際交流事業

日本文化や世界の料理を紹介する「世界を食べよう」や野外での小イベント「課外ラウンジ」を開催し、日本人と外国籍市民との交流を図りました。

○ 世界を食べよう・メキシコ

実施日 3月2日（土）

会場 連雀コミュニティ・センター

参加者 26人（日本人18人・外国籍市民8人）



○ 春の課外ラウンジ「お花見」

実施日 3月19日（火）

会場 都立井の頭恩賜公園西園 文化交流広場

参加者 26人（日本人11人・外国籍市民15人）



3 三鷹国際交流フェスティバル

市民に幅広い国際交流の機会を提供するとともに、MISHOPの周知を図るため、第32回三鷹国際交流フェスティバル(MISHOP WORLD 2023)を開催しました（共催：三鷹青年会議所、後援：三鷹市）。

開催に当たっては、幹事会を立ち上げて基本的な感染防止対策と混雑緩和対策を検討し、昨年度と同様に飲食専用エリアの設置や会場規模の拡大を継続することで、来場者等の安全

性と快適性の確保に努めました。また、4年ぶりに、外国籍市民と日本人が会話を楽しむ MISHOP ステーションや出展団体を中心に世界各地の民族音楽・舞踏などを披露する WBA（ワールド・バザール・アトラクション）を再開するなど、多彩で充実したイベントとなりました。

＜事業実績＞

日 時 9月24日（日）10:00～15:30
会 場 都立井の頭恩賜公園西園・競技場、
文化交流広場及び野球場周辺

来場者 延べ47,000人

（関連事業「ウクライナ文化への理解を深めるイベント・講座」16ページ参照）



4 国際交流ウォークラリー

小グループで市内のコースを巡り、日本人と外国籍市民、外国籍市民同士の交流を深めるため、ウォークラリーを実施しました。

＜事業実績＞

日 時 5月21日（日）12:30～16:00
コース 三鷹駅前コミュニティ・センター周辺
参加者 総数43人
（外国籍市民7か国、10人・
日本人ボランティア33人）



5 国際交流スキーツアー

1泊2日のスキーツアーを通じて日本人と外国籍市民との交流を図りました。

＜事業実績＞

実施日 2月3日（土）～4日（日）
場 所 シャトレーゼスキーバレー野辺山
（長野県南佐久郡川上村）
宿 泊 三鷹市校外学習施設「川上郷自然の村」
参加者 37人（外国籍市民8か国、
22人・日本人15人）



6 フェアウェルパーティー 《再開》

年末に1年間の協会の活動を振り返るとともに、日本人会員と外国籍市民との親睦を深めるフェアウェルパーティー2023を開催しました。なお、大人数での飲食を伴うイベントであることから、従来よりも広い会場で実施しました。

＜事業実績＞

実施日時 12月2日（土） 14:00～16:00
会 場 三鷹産業プラザ7階 703～705 会議室
参加者 102人（日本人72人・外国籍市民30人）
（関連事業「イベントへの招待」16ページ参照）



II 国際理解の推進事業（定款第4条第2号関係）

世界の国や地域の文化に触れ、理解を深めることにより、日本人と外国籍市民との相互理解の促進を図ることを目的としています。

1 ことばと文化講座

市民が日常生活の中で外国籍市民と交流し、相互理解を図る一助となるよう、外国語の学習と合わせて、その国の社会、歴史などの文化的な背景を学ぶ「ことばと文化講座【中国コース】」を実施しました。

＜事業実績＞

実施日 1月13日～3月16日（毎週土曜日 18:30～19:30、全10回）
会 場 国際交流センター会議室
講 師 川島 剛太郎さん（ハリウッド大学院大学教授、協会理事）
参加者 14人

2 国際理解講座

市民の国際理解の促進に向け、世界の歴史や文化、トピックをテーマに、講演会を2回実施しました。

- 第86回 世界の中の日本・多文化共生のために
— 米国・台湾・ウクライナ・ロシア —
- 実施日 7月29日（土） 14:00～16:00
会 場 三鷹駅前コミュニティ・センター
地下1階大会議室
講 師 望月 圭子さん（東京外国語大学教授）



- 第 87 回 イグ・ノーベル賞受賞
クリスチャン・チャンさん講演会
- 実施日 2月24日(土) 14:00~16:00
- 会場 三鷹産業プラザ7階 703~705 会議室
- 講師 クリスチャン・チャンさん
(国際基督教大学准教授)



3 子ども国際理解教室

市内の学校のニーズに応じて、協会で活動している外国籍市民を学校の授業に派遣し、国際理解教育の支援を行いました。

<事業実績>

- 実施校 ①明星学園高等学校 2年生2クラス
- ②三鷹市立第二小学校 2年生調べ学習グループ
- ③三鷹市立北野小学校 5年生3クラス
- 日時 ①a 11月24日(金) 9:00~10:30
b 12月1日(金) 9:00~10:30
- ②2月6日(火) 10:30~11:30
- ③3月29日(木) 10:30~11:30
- 派遣 外国人ボランティア
- ①a 5か国、5人、b 5か国、5人
- ②2か国、2人
- ③7か国、10人(協力 アマゾンジャパン合同会社)



4 子ども世界の文化体験会

世界の伝統文化や音楽などを子ども同士や親子に体験する機会を提供することで、国際交流と多文化理解の促進を図りました。

<事業実績>

- アフリカンリズム
- 日時 8月27日(土) 14:00~15:30
- 会場 三鷹駅前コミュニティ・センター
地下1階大会議室
- 協力 ムクナバンド(アフリカ音楽グループ)
- 参加者 86人



Ⅲ 外国籍市民への生活支援活動の推進事業（定款第4条第3号関係）

外国籍市民が、日常生活や学校生活を送るうえで必要な日本語の学習や相談などの支援を行いました。2023年度は、すべての事業を再開しました。

1 日常生活相談

外国籍市民の日常生活に関する相談や情報提供などを行いました。2023年度は、昨年度に引き続き三鷹市と連携・協力してウクライナ避難者の日々の様々な相談に鋭意取り組みました。また、ウクライナ避難者の支援については、日本財団の助成金を受けて取り組みました。

2 日本語教室

外国籍市民が安心して生活できるよう、また地域コミュニティへの参加の契機となるよう、日常会話の日本語習得を支援することを目的に「日本語教室」を実施しました。

＜事業実績＞

日 時 毎週土曜日 10:30～11:30
会 場 国際交流センター会議室
外国籍受講者 16か国、27人
参加ボランティア 10人



3 外国籍児童・生徒の学校生活支援

(1) 子ども教室

外国籍の児童・生徒などの居場所づくりとして、また楽しく充実した学校生活を送れるよう、生活対応言語を中心とした日本語の習得と学習思考言語を中心とした教科の習得を支援する「子ども教室」を実施しました。

＜事業実績＞

日 時 毎週土曜日
①13:00～14:50、②15:00～16:20
会 場 国際交流センター会議室
学習児童・生徒 15か国、32人
参加ボランティア 34人



(2) 語学サポート

市立小中学校に編入した日本語が不自由な児童・生徒のため、教育委員会からの要請に応じて有資格のボランティアを派遣し、日本語のサポートを行いました。

<事業実績>

実施校	12校（小学校9校、中学校3校）
学習児童・生徒	11か国、18人（小学校15人、中学校3人）
時間	延べ381時間
参加ボランティア	9人

4 日本語ボランティア講習 <再開>

日本語支援活動（日本語教室、子ども教室、LLJ）を行っている会員の他、広く一般市民も対象とした講習会を開催しました。あわせて、日本語支援活動の紹介やボランティア募集を行いました。

<事業実績>

実施日	3月26日（土）	15:30～17:00
会場	国際交流センター会議室	
講師	ジャン・E・プレゲンスさん （ルーテル学院大学教授、協会副理事長）	
参加者	35人	



5 通訳・翻訳ボランティアサービス

三鷹市と協働で実施している通訳・翻訳ボランティアサービス制度について、利用申請の受付と派遣等を行いました。

<事業実績>

ボランティア登録者数	236人（対応可能言語数 16言語）
利用件数	3言語、17件（翻訳4件・通訳13件）
参加ボランティア	延べ20人

6 災害発生時等の外国籍市民支援対策

災害の発生に備え、三鷹市防災課と連携して防災出前講座を実施するとともに、三鷹市総合防災訓練に参加しました。また、NPO法人Mitaka みんなの防災と連携して防災フェスタへ出展しました。

○ MISHOP 防災出前講座<再開>

日時	①7月8日（土）10:30～12:00
	②2月9日（金）15:30～17:00
会場	国際交流センター会議室
外国籍参加者	①20人 ②10人
参加ボランティア	①19人 ②22人



- 三鷹市総合防災訓練
 - 日 時 11月5日(日) 10:00~12:00
 - 会 場 三鷹市立第五小学校
 - 外国籍参加者 5人
 - 参加ボランティア 6人



- Mitaka みんなの防災フェスタ
 - 日 時 3月23日(土) 10:00~15:00
 - 会 場 三鷹中央防災公園
 - 内 容 Origami for 防災! 外国籍ボランティア
と一緒に防災グッズ作り
 - 外国籍参加者 8人
 - 参加ボランティア 2人



7 L L J (日本語個人レッスン) 活動支援

外国籍市民にマンツーマンで日本語を教える会員グループである「L L J」(Let's Learn Japanese) の活動を側面的に支援しました。

IV 広報事業

協会の活動を広く PR するとともに、市民の国際理解促進に向けた情報提供を行いました。

1 ホームページの運用

協会のボランティアの協力を得て、日本語・英語・中国語・ハングル・やさしい日本語の5カ国語に対応したホームページの運用を行いました。

2 会報・ニュースレターの発行

ボランティア会員及び外国籍市民に協会の活動を紹介するため、会報及びニュースレターを発送しました。会報は事業の告知などを中心に計9回発行し、外国籍市民向けに発行しているニュースレターについては、日本で生活する上での様々な情報提供を中心に毎月1回(計12回発行)の発行を行いました。また、協会が主催するイベントなどを紹介する「みんなの活動だより」を発行しました(計6回発行、通算81号)。

V 三鷹国際交流センター等管理運営受託事業（定款第4条第4号関係）

三鷹市から指定管理者として指定を受けている施設の管理業務を行いました。

＜指定管理業務の内容＞

管理施設	三鷹市中央通りタウンプラザ 国際交流センター・女性交流室
協定内容	上記施設に係る使用、貸出及び管理・運営業務
協定期間	2019年4月1日～2024年3月31日

VI 市民の国際活動に対する助成事業

市民の自主的な国際交流活動を財政的に援助し、その活性化を図るため、①国際交流・支援に係る市民団体活動助成と②ホームステイ助成の2つの助成制度を設けています。

＜事業実績＞

国際交流・支援に係る市民団体活動助成	1件
ホームステイ助成	実績なし

VII その他

1 維持会員報告会（Kick-off Meeting2023） <<再開>>

実施日	6月15日（木） 19:00～21:00
会場	国際交流センター会議室等
内容	2022年度事業報告、2023年度事業計画、各部会活動報告、定例活動報告、 会員グループ活動報告、ウクライナ紹介のミニトークイベント
参加者	29人

2 共催事業 <<中止>>

東京大学教養学部と共催で例年実施している「三鷹市民と東京大学三鷹国際学生宿舎生との集い」について、開催を中止としました。

3 後援事業

○ 日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス（説明会と教育相談）

主催	公益財団法人武蔵野市国際交流協会
日時	7月9日（日） 12:30～17:00
会場	スイングビル11階（武蔵野市）

4 会員グループ活動 《一部を除き対面による活動を再開》

- L L J (Let's Learn Japanese) ⇒ 随時活動、マッチングは概ね隔週木曜日
- 時事問題について語り合う会 ⇒ 毎月第1月曜日
- E E S (Enjoy English Speaking) ⇒ 毎月第1・3・5木曜日
- 時事英語を楽しむ会 ⇒ 開催なし
- 「タイム」を読む会 ⇒ 毎月第3水曜日
- 龍縁会(中国語勉強会) ⇒ 開催なし
- サランバン(ハンゲル勉強会) ⇒ 毎月第2・3・4水曜日
- Women's Reading Club ⇒ 開催なし
- 囲碁の会 ⇒ 毎週木曜日(リモートによる活動)
- 温泉研究会 ⇒ 開催なし

5 職場体験等 《一部再開》

市内中学校の生徒を受け入れる「職場体験」を実施しました。なお、市内等の大学生を受け入れる「インターンシップ」の事業については中止としました。

○ 職場体験の受入

三鷹市立第四中学校	6月6日(火)～8日(木)	2年	2人
三鷹市立第一中学校	10月25日(水)～27日(金)	2年	2人

ウクライナ避難者に寄り添った取組

ロシア連邦の軍事侵攻を受けてウクライナから三鷹市へ避難された方々を地域で受け入れ、支えることを目的として、日本財団の助成金等を受けて、避難者の一人ひとりに寄り添った活動に一年を通して取り組みました。

◆ ウクライナ避難者の数

37世帯、49人（2024年3月31日現在）

1 避難者への支援・交流

(1) 転入手続きのサポート

三鷹市と連携して市役所での転入に係る様々な行政手続きに同行し、窓口の案内やサポートを行いました。また、金融機関での口座開設の同行やハローワーク等の案内を行いました。

(2) 生活の困りごと相談

バスの乗り方や公共施設（図書館やコミュニティ・センターなど）の開館時間や利用方法、場所の案内のほか、国民年金に関する手続き、就労時の健康診断の申込みなどをサポートしました。また、居住する住宅の自治会からの依頼に応じて、ごみの出し方や分別方法の案内、自治会委任状の翻訳などを行いました。

(3) 三鷹市の自転車貸与

避難者からの要望に応じて、三鷹市のシェアサイクル事業の空き自転車を活用して、自転車の無償貸与を行いました。引き渡し時には、警視庁が作成している自転車の乗り方ガイドを冊子にして配布しました。

<事業実績>

貸出台数 13台（13人）

(4) 民間企業が実施する生活用品等の支援事業の斡旋

民間企業が無償提供する生活用品の要望等を取りまとめ、斡旋するなどの調整を行いました。

<事業実績>

ソフトバンク株式会社（スマートフォン） 15台（15人）

生活協同組合パルシステム東京（お米） 3kg × 60袋（11世帯、25人）

(5) イベントへの招待

三鷹の夏の風物詩ともいえる阿波踊りへ招待し、日本の文化に触れてもらう機会としたほか、フェアウェルパーティー2023へ招待し、日本人会員と外国籍市民との親睦を深めました。

○ 第56回三鷹阿波おどり

実施日時 8月19日(土) 17:00~20:00

会場 三鷹南口駅前商店街

参加者 19人



○ フェアウェルパーティー2023

実施日時 12月2日(土) 14:00~16:00

会場 三鷹産業プラザ7階 703~705号室

参加者 10人



2 ウクライナ文化への理解を深めるイベント・講座

国際交流フェスティバルにおいて、ウクライナの食、物、文化を紹介するほか、ウクライナ民謡と舞踊の披露や市民との交流の場を設け、多くの来場者へウクライナの紹介と理解促進を図りました。

<事業実績>

日時 9月24日(日) 10:00~15:30

会場 都立井の頭恩賜公園西園・競技場、文化交流広場及び野球場周辺

来場者 延べ47,000人

- 内容
- ・ウクライナの食べ物と民芸品など物品の販売
 - ・メインステージでのウクライナ民謡と舞踊の披露
 - ・多文化紹介プログラムへの参加
 - ・フェスティバルに来場した市民との交流 (MISHOP ステーション)



理事会等の開催実績

1 理事会

(1) 第1回理事会 (2023年5月12日(金) 18:30~19:50)

- 議案第1号 2022年度公益財団法人三鷹国際交流協会事業報告について
- 議案第2号 2022年度公益財団法人三鷹国際交流協会決算について
- 議案第3号 2023年度公益財団法人三鷹国際交流協会補正予算について
- 議案第4号 公益財団法人三鷹国際交流協会個人情報保護規程廃止の専決処分について
- 議案第5号 公益財団法人三鷹国際交流協会特定個人情報保護規程廃止の専決処分について
- 議案第6号 2023年度第1回評議員会(定時)の招集について
- 議案第7号 公益財団法人三鷹国際交流協会職員旅費支給規程の一部改正の専決処分について
- 議案第8号 2023年度第1回評議員会(定時)の招集について

(2) 第2回理事会 (2024年3月6日(水) 18:30~19:20)

- 議案第9号 2024年度公益財団法人三鷹国際交流協会事業計画について
- 議案第10号 2024年度公益財団法人三鷹国際交流協会予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
- 議案第11号 基本財産の取崩し及び公益目的保有財産の減額について
- 議案第12号 公益財団法人三鷹国際交流協会職員給与規程の一部改正の専決処分について
- 議案第13号 2023年度第3回評議員会(臨時)の招集について

2 評議員会

(1) 第1回評議員会 (2023年6月2日(金) 18:30~19:30)

- 議案第1号 2022年度公益財団法人三鷹国際交流協会事業報告について
- 議案第2号 2022年度公益財団法人三鷹国際交流協会決算について
- 議案第3号 2023年度公益財団法人三鷹国際交流協会補正予算について
- 議案第4号 評議員の選任について

(2) 第2回評議員会 (2023年11月30日(木) 決議の省略)

- 議案第5号 公益財団法人三鷹国際交流協会役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について

(3) 第3回評議員会 (2024年3月19日(火) 18:30~19:30)

- 議案第6号 2024年度公益財団法人三鷹国際交流協会事業計画について
- 議案第7号 2024年度公益財団法人三鷹国際交流協会予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第8号 基本財産の取崩し及び公益目的保有財産の減額について

3 監査

監査事項	2022年度公益財団法人三鷹国際交流協会事業報告書、決算書及び理事の業務執行について
実施日	2023年5月11日(木) 15:00~16:00
監査結果	適正と認める

4 経営会議

実施日	第1回 7月14日(金)
	第2回 9月13日(水)
	第3回 11月14日(火)
	第4回 1月24日(水)

5 各部会等活動報告

(1) イベント部会(一般)	5回
(2) イベント部会(青少年)	4回
(3) 多文化教養部会	4回
(4) サポート・サービス部会	4回
(5) 広報部会	2回
(6) フェスティバル幹事会	2回
(7) フェスティバル実行委員会	3回

役員体制（2024年3月31日現在）

【理事】 16人

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	松田 剛明	理事	スティーブン・エスキルセン
副理事長	坂本 ロビン	理事	川島 鋼太郎
副理事長	伊藤 一美	理事	木村 実季
常務理事	高階 豊彦	理事	山田 優子
理事	石井 章夫	理事	埴村 貴志
理事	石井 義之	理事	ジャン・E・プレゲンズ
理事	石坂 和也	理事	本郷 好和
理事	入月 裕樹	理事	山田 恭稔

【監事】 2人

役職名	氏名	役職名	氏名
監事	岩崎 守利	監事	星 雅典

【評議員】 15人

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	伊沢 けい子	評議員	鈴木 紀子
評議員	上村 和大	評議員	中山 圭
評議員	門田 康一	評議員	原 恵
評議員	川口 大志	評議員	前田 舞
評議員	古閑 せい子	評議員	松本 知広
評議員	後藤 伊織	評議員	森木 美恵
評議員	酒井 裕央	評議員	吉野 建作
評議員	坂本 純一		

決 算 書

以降、割愛させていただきます。

公益財団法人三鷹国際交流協会

住 所 東京都三鷹市下連雀三丁目 30 番 12 号

T E L 0422-43-7812

F A X 0422-43-9966

E - m a i l mishop@mishop.jp

U R L <https://www.mishop.jp/>